

第1回京田辺市総合計画審議会 議事録（要旨）

会議名	第1回京田辺市総合計画審議会
日 時	平成30年5月29日（火）午前10時から12時まで
場 所	京田辺市庁舎5階 議会全員協議会室
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>4 会長・副会長の互選 (会長に谷口委員、副会長に野田委員を選出)</p> <p>5 会長あいさつ</p> <p>6 質問書の交付</p> <p>7 第4次京田辺市総合計画の策定方針等について (1) 第4次京田辺市総合計画策定方針について (2) 市民アンケート及び中学生アンケートについて (3) 今後のスケジュールについて</p> <p>8 副市長あいさつ</p> <p>9 閉会</p>
出席者	<p>委員 谷口委員、野田委員、米田委員、中山委員、青木委員、足立委員、上原委員、角丸委員、川嶋委員、潮委員、白川委員、鈴木（逸）委員、鈴木（俊）委員、田邊委員、寺西委員、中川委員、畠山委員、藤田委員、柳田委員、山本委員、河内委員、多富委員、宮寄委員</p> <p>市側 石井市長、鞍掛副市長、事務局（西川理事、池田企画政策部副部長等）</p>
傍聴者	なし

●議事（要旨）

○第4次京田辺市総合計画の策定方針等について

（1）第4次京田辺市総合計画策定方針について

〈配付資料に基づき事務局から説明〉

- ・第4次京田辺市総合計画策定方針説明資料（資料4）
- ・第4次京田辺市総合計画策定方針（資料5）

【委員】国全体（京都府）が今人口減少で憂いでいるなかで、京田辺市だけが勝つということではなくて、全体的な国、京都府の中で京田辺市はどういう立ち位

置があって、その中の役割をどのように担っていくかということも加味する必要があるのではないか。

【事務局】新名神の全線開通、北陸新幹線の延伸、関西文化学術研究都市など国家プロジェクトも集中しているので、広域的な視点でのまちづくりも必要。京都府南部の中心的な役割を担えるようなまちを目指すということも考えられるので、これから十分ご議論いただきたい。

【委員】現在、各自治会・区から市長に対する要望が400件程度出ている。そういうものをベースとして考えていかないとアドバルーンのようになってしまう。地元のことをまずきちんと押さえて、そしてそれを全体に広げていくように構想を検討していく必要もあると思う。

【事務局】自治会からも毎年たくさんいろいろな要望をいただいている。今度の計画策定については基本構想では大きな方向性を示す中で、また、まちづくりプランでは個別の市民の皆様の声を反映できるような分野ごとのものを皆さんのが声をいただきながらまとめていきたいと考えている。

【委員】「緑豊かで健康な文化田園都市」を目指していくためにも、もう少し森林をきれいにして、田園の姿をもっと整備してきれいにできないか。

【事務局】京田辺は、市街地もあれば、緑もあって、農地もある。これが魅力だと思う。ただ、これはなかなか行政だけでは守れない。市民と行政が一緒に活動をしていただけるような仕掛けづくりを考えていく必要がある。

【委員】前回は議員さんが3名ほどこの中に入っていたが、今回はいない。理由は？

【事務局】審議会への議員の参画についての全国的な流れや、計画を策定するにあたって基本構想については議決を得るという形になっているため、今回審議会を開催するに当たって市議会と調整させていただいた結果、議員は参画されないこととなった。審議会での内容などについては、適宜、議会に情報提供を行っていきたいと考えている。

【委員】資料に「これまで進めてきたまちづくりを継承し」と記載があるが、とても抽象的なので、もう少し具体的、レベルの高いまちづくりにできたらよい。例えば、京田辺での開発基準を見直しする（一戸建て住宅の最低面積を50坪にする）とかいろいろレベルアップを考えていってはどうか。

【事務局】冒頭の市長のあいさつにもありました、都市格を高めるためにはどうしたらいいかということで、文化、景色、まちなみの景観というのも非常に重要だと考えている。50坪の話はなかなか難しいと思うが、都市格をみんなの力で高めていくことが大事だと思う。

【会長】都市格という言葉が出ていたが、グレードを上げていくというのは大事なことである。都市の品格である。

【委員】松井山手の駅の周辺に北陸新幹線の新駅ができるこことにより、京田辺市の北部のまちづくりが非常に変わってくる。総合計画の中に北陸新幹線の駅を考慮したまちづくりプランをぜひお願いしたい。

【事務局】北陸新幹線の駅について、この計画を作成している間に駅がこの位置にできるということは恐らくは発表されないと思うが、できることは間違いないので、新幹線の駅ができるこことによって、それをどうまちづくりに生かしていくかということを皆さんのご意見をいただきながら、描いていく必要があると考えている。

【委員】まだ第3次の計画が進行中だと思うが、第4次計画は第3次を踏まえたものになろうかと思う。現計画の進捗状況（まちづくりプランの達成状況）を公表いただくということはあるのか。

【事務局】第2回の現状と課題の確認というところでお話しできたらと考えている。

（2）市民アンケート及び中学生アンケートについて

〈配付資料に基づき事務局から説明〉

- ・第4次京田辺市総合計画策定のためのアンケート実施方針（資料6）
- ・アンケートの質問設定の考え方（資料7）
- ・第4次京田辺市総合計画策定のための市民アンケート（資料8）
- ・第4次京田辺市総合計画策定のための中学生アンケート（資料9）

【委員】アンケートで、居住地の分け方をされた理由は何かあるのか。

【事務局】田辺町になる前の旧村合併前の村単位（大住、田辺、草内、三山木、普賢寺）と昔からの住宅地と新興住宅地を参考に区分したもの。

【委員】アンケートの性別について、男性、女性ということで2者しかないが、LGBTの方への配慮ということもあって、その他という項目であったり、1、2以外という項目であったりということが設けられる場合もあるため、検討頂きたい。

【事務局】ご意見を踏まえ修正する。表現は後ほどご相談させていただきたい。

【会長】アンケートについては、調査は6月下旬に実施するということで、時間的な余裕があまりないため、修正については、事務局と私にご一任ということでよろしいか。

【委員】異議なし

(3) 今後のスケジュールについて

〈配付資料に基づき事務局から説明〉

- ・総合計画審議会等の今後のスケジュール（資料10）

【委員】傍聴に関して事前手続きが必要か。大学の学生が傍聴できればとても勉強になる。また、アンケート調査に関して地区が分かれているが、同志社大学、同志社女子大学とも概ね4年いるだけの幽靈住民のような状態であるが、非常にいい知恵や考え方を持っている。このアンケートに組み込まれるのか。

【事務局】審議会の傍聴については、10人ぐらいまでなら可能。また、アンケートについては、市の住民基本台帳から無作為に抽出し、年代ごとに10代、20代、30代という形で抽出している。

【会長】学生さんの意見をもう少し酌み上げるような方法はないか。

【事務局】住民基本台帳をもとにやるので、住所さえ京田辺市に登録されていたら学生に当たる可能性はある。また、同志社と同志社女子の大学生に2人入っていただいているので、お2人からご意見を賜りたい。また、ワークショップを行う際には、学生さんに積極的に参画いただければと考えている。

【委員】子育てをしているお母さんたちは盛りだくさんの意見を持っておられる。そういうことを本当に集約できるのがワークショップだと考えている。9月、10月はすぐなので、具体的にこういう形でやっていきたいというものをお持ちなのか？子育て支援の団体とコラボして、たくさんのお母さんたちから意見が集約できるようなイベントにできたら、アンケートでは拾えない生の声を生

かして子育てしやすい京田辺をますます進めていけると思う。

【事務局】具体的なものはまだ決めていない。逆に決めていないので、第2回の審議会のときには各委員からの声も反映しながらどういうものにするか決めていきたいと思っている。

【委員】9月、10月に開催するのであればもっと早めに計画を立てたほうがよい。

【事務局】いろいろな分野の委員さんがおられるので、いろいろな知見をお持ちの方をご紹介してもらいたい。今後、広報の中で募るとか、スケジュールを見ながら進めていこうと考えている。

【委員】子育てママを集めて意見を聞く場をまた別に考えていただきたい。

【事務局】このワークショップは基本構想部分に向けてのワークショップとなる。また具体的な個別の施策ということになるとまちづくりプランというような形にもなるので、機会も含めていろいろ考えていきたい。

【会長】できるだけ早めに案を出していただきたい。

(4) その他

【委員】京田辺市内には公的なさまざまな施設があると思うが、施設全体のマップはないか。

【事務局】次回の審議会のときにどこにどんな施設があるのかがわかるような資料をお配りしたい。